

2020年度 事業報告

(2020年4月1日～平成2021年3月31日まで)

－ はじめに －

2020年度の概況

2020年度の助成事業については、新型コロナウイルス感染拡大の中、音楽分野・地域の伝統文化分野とも一定の応募者を確保し、引き続き高水準の助成を行なっているところである。また、コロナ禍対応として、テレワークの導入や、サブオフィスの設置、WEB 端末の整備など働き方改革を推進し、システム分野を含めた事務局体制を強化した。

音楽分野の選考については、音楽分野選考委員会および理事会の承認を得たうえで、例年開催しているオーディション形式の第二次選考会を中止し、選考方法を応募書類と音源聴取のみで実施した。7月20日に開催された第3回理事会において助成対象者を決定し、海外音楽研修生を対象とした助成金目録贈呈式の開催は見送りとした。

地域の伝統文化分野においては、2019年度第2回理事会（3月16日開催）において決定した内容に基づいて、助成先42件について明治安田生命の最寄りの支社に依頼し、各地域の感染状況を睨みつつ、7月から10月にかけて全国39会場でそれぞれ助成金目録贈呈式を実施した。特に本年度は、出席者の移動時間を考慮し、第一次推薦者である市町村の庁舎での開催を基本とした結果、地方紙等マスコミ掲載数も例年に比べ大きく増加した。

役員等の人事については、6月17日をもって理事および監事ならびに評議員全員の任期が満了となることから、同日開催された定時評議員会において理事9名、監事2名、評議員10名が選任された。新監事として津吹茂氏、新評議員として池田輝彦氏が選任され、その他は再任となった。その後、6月30日に開催した理事会（決議の省略による方法）において理事長に関口憲一氏、専務理事に壁谷章可氏が選定された。また、明治安田生命新宿ビル解体に伴い、7月13日に事務所を新宿センタービル33階に移転した。

主務官庁である内閣府への届出等については、2019年度事業報告等を2020年6月26日付で提出し、役員、定款、事務所住所の変更届出書を8月3日付で提出した。さらに、2021年度事業計画等の届出を2021年3月23日付で行った。基本財産の運用に関しては、一定のリスクを許容した財産運用を展開するなど、運用益確保に努めた。基本財産運用収入は、予算36,000千円に対し、実績36,557千円となった。

業務運営面では、公告方法の変更を反映した「定款」の変更を行い、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の改正など諸規程を整備した。さらに、評議員会の議論を踏まえ、元本毀損リスクのある財産運用に関し、「財産運用モニタリング会議」「財産運用会議」を組成するとともに、上場・私募不動産投資信託の運用に関する手順・解説書を制定するなど、管理態勢の更なる高度化に努めた。

I. 事業の状況

1. 音楽分野への助成 ～若手音楽家の人材育成に対する助成～

本分野については、前年に引き続きクラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に関し、次の助成を行なった。

- ・海外における音楽研修に対する留学費用助成
- ・国内音楽学生に対する奨学金援助
- ・日本音楽コンクールに対する助成

(1) 海外における音楽研修生に対する助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化向上のため、国際的音楽家を目指して研鑽中の若手音楽家に対して、海外特に欧米に留学することにより技術を練磨するとともにその実体験を通じてさらに研鑽を深めることを期待して、留学に必要な費用の支援を行なう。

② 助成金額

留学受け入れ先の入学決定を条件に、年額200万円(最長2年間)を助成する。

③ 公募関係

- ・公募時期：2020年1月6日～4月8日
- ・告知の方法：音楽専門大学宛案内(29校)、演奏家団体(53団体)および音楽指導者宛案内(341名)
「音楽の友」等音楽専門誌・その他マスコミ宛ニュースリリース送付
財団ホームページへの掲載

・応募数

年度	応募数
2020	58名
2019	64名

・応募者の情報入手経路の割合(複数回答を含む)

年度	過去申込者	学内掲示	知友人	指導者	音楽情報誌等	インターネット
2020	1.4%	15.7%	10.0%	8.6%	1.4%	61.4%
2019	5.8%	13.0%	10.1%	10.1%	5.8%	55.1%

④ 選考経過

- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、音楽分野選考委員会および理事会(4月24日開催)に報告のうえ、オーディション形式の2次選考会は行わず、応募書類と録音資料審査にて助成対象候補者を選出すること、および選考日程の変更について了承を得る。
- ・7月15日開催の選考委員会で6名の助成対象候補者を選定。その他に国内音楽学生奨学金受給候補者11名を選定。
- ・7月20日開催の第1回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2020年度の助成実行状況

- ・海外研修生費用助成の対象者に対する助成金目録贈呈式は、今年度の開催は見送りとした。なお、助成金は助成目的事由が確定(海外留学先教育機関入学許可証または在学証明書を提出)した後に支給。
- ・2020年度助成対象決定者 6名 助成決定額 1,600万円(敬称略)

氏名	専攻	助成期間	研修先
略歴			
櫻井 愛子	声楽(ソプラノ)	1年	ウィーン国立音楽大学 (オーストリア・ウィーン)
ウィーン国立音楽大学大学院在			
吉田 一貴	声楽(テノール)	2年	パルマ音楽院 “アッリゴ・ボート” (イタリア・パルマ)
東京音楽大学大学院修士課程パルマ科修了			
横山 瑠佳	ピアノ	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学 (ドイツ・ミュンヘン)
ミュンヘン音楽・演劇大学修士課程在			
黒田 哲平	ピアノ	2年	デトモルト音楽大学 (ドイツ・デトモルト)
桐朋学園大学音楽学部卒			
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学 (オーストリア・ウィーン)
ウィーン国立音楽大学3年課程在			
内尾 文香	ヴァイオリン	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学 (ドイツ・ミュンヘン)
ミュンヘン音楽・演劇大学大学院修士課程在			

・ 2020年度助成実行状況 合計 13名

助成額合計 1,800万円 未払助成金合計 1,500万円

a. 2018年度助成対象者5名のうち3名

助成額合計 400万円 未払助成金合計 100万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
高橋 維	声楽	1年	プライト音楽院		0
仁田原 祐	ピアノ	2年	ザルツブルク・モーツァルテウム大学	4月(100)	0
小林 壺成	ヴァイオリン	1年	ベルリン芸術大学大学院		0
岡本 誠司	ヴァイオリン	2年	クロンベルク・アカデミー(注1)	10月(100)	100
山根 一仁	ヴァイオリン	2年	ミュンヘン音楽・演劇大学	4月(100)3月(100)	0

(注1) 岡本誠司氏について、ベルリン芸術大学からクロンベルク・アカデミーへの留学先変更を承認(2020年7月)

b. 2019年度助成対象者4名のうち4名

助成額合計 700万円 未払助成金合計 500万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
山田 花織	声楽	2年	クラウデ・イ・アバト・ミラノ市立音楽院	6月(100)12月(100)	100
秋元 孝介	ピアノ	2年	ミュンヘン音楽・演劇大学	7月(100)3月(100)	100
小川 恭子	ヴァイオリン	2年	ウィーン国立音楽大学	5月(100)11月(100)	100
田原 綾子	ヴァイオリン	2年	デトモルト音楽大学	11月(100)	200

c. 2020年度助成対象者6名のうち6名

助成額合計 700万円 未払助成金合計 900万円 (敬称略)

氏名	専攻	期間	研修先	実行月(金額:万円)	未払額
櫻井 愛子	声楽	1年	ウィーン国立音楽大学	10月(100)	100
吉田 一貴	声楽	2年	パルマ音楽院 “アッリゴ・ボート”	10月(100)	300
横山 瑠佳	ピアノ	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学	12月(100)	100
黒田 哲平	ピアノ	2年	デトモルト音楽大学	9月(100)	300
荒井 優利奈	ヴァイオリン	1年	ウィーン国立音楽大学	9月(100)3月(100)	0
内尾 文香	ヴァイオリン	1年	ミュンヘン音楽・演劇大学	10月(100)	100

(2) 国内音楽学生に対する奨学助成

① 助成趣旨

わが国のクラシック音楽文化の向上のため、将来の専門家を目指して勉学中の国内音楽学生に対して奨学金を支給し、より一層研鑽に励めるよう支援する。

② 助成金額

指定校11校から各1名（原則3年次生以上）に対し年間30万円の奨学助成（最長2年間）を行なう。

③ 推薦受付

- ・2020年1月6日 指定校11校に対し推薦依頼。
- ・2020年5月8日 推薦受付を締め切り、11名の推薦を受け。

④ 選考経過

- ・7月15日開催の選考委員会において、国内音楽学生奨学金受給候補者として11名を選定。7月20日開催の第1回理事会において、助成対象候補を承認。

⑤ 2020年度助成実行状況

- ・指定11校から推薦された3年次生以上の学生各1名を助成対象とし、年間30万円（上期・下期各15万円）を支給。
- ・2020年度助成対象決定者 11名 助成決定額 660万円（敬称略）

氏名	在籍大学(推薦校)	専攻	学年
●● ●●	東京藝術大学	ソプラノ	3年
●● ●●	愛知県立芸術大学	ヴァイオリン	3年
●● ●●	京都市立芸術大学	指揮	3年
●● ●●	沖縄県立芸術大学	ピアノ	3年
●● ●●	武蔵野音楽大学	ピアノ	3年
●● ●●	国立音楽大学	電子オルガン	3年
●● ●●	桐朋学園大学	ピアノ	3年
●● ●●	東京音楽大学	作曲	3年
●● ●●	昭和音楽大学	ソプラノ	3年
●● ●●	洗足学園音楽大学	作曲	3年
●● ●●	大阪音楽大学	ピアノ	3年

・2020年度助成実行状況 合計20名

支払額合計 600万円 未払金額合計 330万円（敬称略）

決定年度	氏名	在籍大学	専攻	実行月(金額:万円)	未払額
2019	●● ●●	東京藝術大学	指揮	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	京都市立芸術大学	ピアノ	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	沖縄県立芸術大学	ピアノ	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	国立音楽大学	声楽	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	桐朋学園大学	ヴァイオリン	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	東京音楽大学	声楽	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	昭和音楽大学	ピアノ	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	洗足学園音楽大学	電子オルガン	6月(15) 11月(15)	0
"	●● ●●	大阪音楽大学	ヴァイオリン	6月(15) 11月(15)	0
計	9名			270万円	0万円

2020	●● ●●	東京藝術大学	ソプラノ	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	愛知県立芸術大学	ヴァイオリン	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	京都市立芸術大学	指揮	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	沖縄県立芸術大学	ピアノ	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	武蔵野音楽大学	ピアノ	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	国立音楽大学	電子オルガン	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	桐朋学園大学	ピアノ	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	東京音楽大学	作曲	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	昭和音楽大学	ソプラノ	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	洗足学園音楽大学	作曲	9月(15) 11月(15)	30
〃	●● ●●	大阪音楽大学	ピアノ	9月(15) 11月(15)	30
計	11名			330万円	330万円
合計	20名			600万円	330万円

(3) 日本音楽コンクールへの助成

「日本音楽コンクール」(主催：毎日新聞社／日本放送協会)の運営協力のための助成

- ・作曲部門最優秀者への寄託賞(明治安田賞50万円)贈呈

<結果> 第89回日本音楽コンクール作曲部門結果(2020年度はオーケストラ作品)

本選会：8月26日 11作品(応募36作品) 於：NHK 施設内

最優秀者(敬称略)：第1位 波立 裕矢 氏

2. 地域の伝統文化分野への助成 ～地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成～

① 助成趣旨

古来、地域に伝承されてきた民族固有の伝統的な文化である地域の民俗芸能・民俗技術等を正しく後世に残すため、その継承活動、特に後継者育成に必要な諸活動費に対する支援を行なう。

② 助成対象

- ・地域の民俗芸能(民俗行事・民俗音楽を含む)の継承、後継者育成のための助成
- ・地域の民俗技術(伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む)の継承、後継者育成のための助成

③ 助成金額

地域の民俗芸能への助成は70万円を限度とし、地域の民俗技術への助成は40万円を限度として助成を行なう。

④ 公募関係

- ・公募時期：2019年11月5日～2020年1月31日
- ・告知の方法：都道府県の知事部局および教育委員会の文化担当課ならびに県立の博物館等に申込要領を送付し、応募者の推薦を依頼。加えて、地方紙を中心としたマスコミ宛にニュースリリースを発送。

・応募数

年度	区分	申込件数	(申込都道府県数)
2020	民俗芸能	133	43
	民俗技術	5	5
	合計	138	延べ43
(参考)2019年度応募状況		126	延べ45

⑤ 選考経過

2月25日開催の選考委員会において、書類審査により助成対象候補42件を選定。

年度	区分	件数	助成金額
2020	民俗芸能	39	1,740万円
	民俗技術	3	110万円
	合計	42	1,850万円
(参考)2019年度助成状況		42	1,850万円

⑥ 2020年度助成実行状況

- ・都道府県別に一次推薦先の市町村教育委員会等の施設において、都道府県推薦窓口の方も招き助成金目録の贈呈を行なった。なお、助成金は、助成金目録の贈呈後、対象者が希望する月に支給した。

- ・助成実行状況

助成実行件数合計 42件

助成実行額合計 1,850万円

a. 民俗芸能 39件 1,740万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
青森県	塩釜神楽保存会	50	三重県	立岡虫送り保存会	35
岩手県	青笹町しし踊り保存会	50	滋賀県	朝日豊年太鼓踊保存会	30
宮城県	塩竈神楽保存会	50	大阪府	摂州地車囃子かずら	50
秋田県	上若郷土芸能保存会	35	和歌山県	顯國神社三面保存会	50
山形県	達磨寺田植踊り保存会	20	島根県	出雲大社教神代神楽 西日登神楽社中	50
茨木県	女沼ささら保存会	50	広島県	田熊神代神楽保存会	70
栃木県	尾出山神社関白流獅子舞保存会	45	山口県	下関平家踊保存会西山連	50
群馬県	新井獅子舞保存会	50	徳島県	穴喰祇園祭お能保存会	45
埼玉県	金鑽神楽本庄組神楽保存会	25	香川県	原獅子組	35
千葉県	家之子獅子連郷土芸能保存会	15	高知県	浮津西町鯨舟の唄保存会	50
東京都	大戸囃子保存会	40	福岡県	松会保存会	50
神奈川県	相模人形芝居 前鳥座	50	佐賀県	米多浮立保存会	50
新潟県	関山神社仮山伏伝承会	50	長崎県	長坂浮立保存会	45
富山県	稗田伝統文化保存会	50	熊本県	永尾ちょぼくれ保存会	50
石川県	中央町中思会	50	熊本県	柳別府太鼓踊り保存会	20
福井県	三国祭囃子 初香会	50	大分県	宝楽保存会	50
長野県	中萱紫石会	40	宮崎県	日南市泰平踊本町組保存会	50
岐阜県	青墓大太鼓踊りを守る会	50	鹿児島県	大崎伝統芸能神舞保存会	50
愛知県	美浜町 古布区 祭礼	20	沖縄県	宮城ウシデーク保存会	70
愛知県	尾張旭市印場北部地区警固祭り	50			

b. 民俗技術 3件 110万円

地域	対象(団体等)	助成額	地域	対象(団体等)	助成額
宮城県	白石和紙 蔵富人	35	和歌山県	根来塗曙山会	40
福島県	海老根伝統手漉和紙保存整備事業実行委員会	35			

3. 機関誌の発行

- ・音楽分野『いい人・いい音』2021年1月発行（1,300部）
- ・伝統文化分野『地域の伝統文化』2020年11月発行（4,000部）

(参考) 年度別 助成申込件数、助成対象決定件数、助成金額

[金額単位：万円]

年度		音 楽 分 野					伝 統 文 化 分 野			金額計
		日本音楽 コンクール	海外音楽 コンクール	海外音楽 研修生	音楽学生 奨学金	音楽計	民俗芸能	民俗技術	伝統 文化計	
1991 ～ 2001	申込	11	253	967	110	1,341	1,365	101	1,466	77,234
	決定	11	38	62	110	221	409	60	469	
	金額	6,050	3,650	28,420	10,420	48,540	26,350	2,344	28,694	
2002	申込	1	12	104	10	127	130	15	145	7,570
	決定	1	2	7	10	20	38	10	48	
	金額	550	120	2,860	1,040	4,570	2,590	410	3,000	
2003	申込	1	—	102	10	113	111	4	115	4,010
	決定	1	—	5	10	16	33	2	35	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,590	60	1,650	
2004	申込	1	—	85	10	96	112	11	123	4,010
	決定	1	—	5	10	16	31	5	36	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,525	125	1,650	
2005	申込	1	—	87	10	98	139	3	142	4,010
	決定	1	—	6	10	17	37	0	37	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,650	0	1,650	
2006	申込	1	—	86	10	97	113	10	123	4,246
	決定	1	—	6	10	17	35	2	37	
	金額	50	—	2,000	450	2,500	1,666	80	1,746	
2007	申込	1	—	99	10	110	152	10	162	4,270
	決定	1	—	5	10	16	37	2	39	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,780	70	1,850	
2008	申込	1	—	88	10	110	129	5	134	4,270
	決定	1	—	5	10	16	39	1	40	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,810	40	1,850	
2009	申込	1	—	77	10	88	137	7	144	4,240
	決定	1	—	6	10	17	38	4	42	
	金額	50	—	1,800	540	2,390	1,740	110	1,850	
2010	申込	1	—	94	10	105	139	5	144	4,210
	決定	1	—	5	10	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,800	510	2,360	1,735	115	1,850	
2011	申込	1	—	81	10	92	172	3	175	4,440
	決定	1	—	6	10	17	41	1	42	
	金額	50	—	2,000	540	2,590	1,814	36	1,850	
2012	申込	1	—	77	11	89	187	7	194	4,557
	決定	1	—	4	11	16	48	6	54	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	2,122	185	2,307	
2013	申込	1	—	81	11	93	160	8	168	4,040
	決定	1	—	5	11	17	40	2	42	
	金額	50	—	1,600	540	2,190	1,775	75	1,850	
2014	申込	1	—	87	11	99	171	5	176	4,120
	決定	1	—	6	11	18	41	3	44	
	金額	50	—	1,600	570	2,220	1,802	98	1,900	
2015	申込	1	—	80	11	92	155	9	164	4,500
	決定	1	—	6	11	18	40	4	44	
	金額	50	—	2,000	600	2,650	1,746	104	1,850	
2016	申込	1	—	67	11	79	137	3	140	4,270
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,800	570	2,420	1,800	50	1,850	
2017	申込	1	—	56	11	78	134	6	140	4,130
	決定	1	—	4	11	16	42	1	43	
	金額	50	—	1,600	630	2,280	1,811	39	1,850	
2018	申込	1	—	61	11	73	136	6	142	4,100
	決定	1	—	5	11	17	41	2	43	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,775	75	1,850	
2019	申込	1	—	64	11	76	118	8	126	4,100
	決定	1	—	4	11	16	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	600	2,250	1,736	114	1,850	
2020	申込	1	—	58	11	70	133	5	138	4,160
	決定	1	—	6	11	18	39	3	42	
	金額	50	—	1,600	660	2,310	1,740	110	1,850	
累 計	申込	30	265	2,501	309	3,105	4,030	231	4,261	160,487
	決定	30	40	163	309	542	1,148	116	1,264	
	金額	7,500	3,770	62,880	21,540	95,690	60,557	4,240	64,797	

II. 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

2021年3月31日現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	略歴	備考
理事	関口 憲一	2020/06/17	理事長(非常勤)	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
理事	壁谷 章可	同	専務理事(常勤)	当財団事務局長	2017/06/01
理事	小島 美子	同	非常勤	国立歴史民俗博物館名誉教授	2012/04/01
理事	醤油 和男	同	常勤	明治安田システム・テクノロジー(株)元監査役	2016/06/14
理事	竹内 彰雄	同	非常勤	片倉工業株式会社顧問	2016/06/14
理事	丹羽 正明	同	同	音楽評論家	2012/04/01
理事	平出 功	同	同	T P R株式会社相談役	2010/06/23
理事	深澤 正宏	同	同	安田不動産株式会社相談役	2009/03/10
理事	星野 紘	同	同	公益財団法人全日本郷土芸能協会理事長	2009/06/04
監事	津吹 茂	2020/06/17	非常勤	オリジン電気株式会社元常勤監査役	2020/06/17
監事	白井 道昭	同	同	明治安田生命保険(相)関連事業部長	2019/06/17
評議員	朝岡 康二	2020/06/17	—	沖縄県立芸術大学元学長	2008/03/10
評議員	池田 輝彦	同	—	みずほ信託銀行株式会社顧問	2020/06/17
評議員	海老澤 敏	同	—	尚美学園大学名誉教授	2012/04/01
評議員	小塩 節	同	—	中央大学名誉教授	2012/04/01
評議員	鈴木 伸弥	同	—	明治安田生命保険(相)取締役会長代表執行役	2014/06/10
評議員	田中 宏	同	—	株式会社クレハ名誉顧問	2014/06/10
評議員	遠山 敦子	同	—	公益財団法人トヨタ財団顧問、元文部科学大臣	2012/04/01
評議員	根津 嘉澄	同	—	東武鉄道株式会社取締役社長	2010/06/03
評議員	松尾 憲治	同	—	明治安田生命保険(相)特別顧問	2014/06/10
評議員	渡辺 行信	同	—	当財団元専務理事	1997/06/10

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

2. 選考委員に関する事項

2021年3月31日現在

(1) 音楽分野

役名	氏名	就任年月日	略歴	備考
選考委員長	丹羽 正明	2020/04/01	音楽評論家	1991/06/23
選考委員	植田 克己	同	ピアニスト・東京藝術大学名誉教授	2000/04/01
選考委員	多田羅迪夫	同	声楽家・東京藝術大学名誉教授	2007/04/01
選考委員	徳永 二男	同	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特任教授	1991/06/23
選考委員	沼野 雄司	同	桐朋学園大学・大学院教授	2019/04/01
選考委員	山本 正治	2021/03/10	クラリネッティスト・東京藝術大学名誉教授	2021/03/10
選考委員	渡辺 行信	2020/04/01	当財団元専務理事	1991/06/23

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

(2) 伝統文化分野

役名	氏名	就任年月日	略歴	備考
選考委員長	小島 美子	2020/04/01	国立歴史民俗博物館名誉教授	1991/06/23
選考委員	神野 善治	2021/03/10	武蔵野美術大学名誉教授	2021/03/10
選考委員	田中 宣一	2020/04/01	成城大学名誉教授	1991/06/23
選考委員	田村善次郎	同	武蔵野美術大学名誉教授	同
選考委員	西角井正大	同	国立劇場おきなわ運営財団理事	1995/06/06
選考委員	星野 紘	同	全日本郷土芸能協会理事長・日本民俗音楽学会会長	2014/04/01
選考委員	渡辺 行信	同	当財団元専務理事	1991/06/23

(注) 備考欄の年月日は最初の就任年月日。

(3) 選考委員会

① 音楽分野

開催日	内 容
2020年 7月15日	・2020年度申込者の選考審査会(書類および録音資料審査)を明治安田生命新宿ビル会議室にて実施し、助成対象候補者6名を選定。
2020年 10月22日	・日本工業倶楽部にて開催し、2021年度公募方針ならびに申込要領の内容を決定。

② 伝統文化分野

開催日	内 容
2020年9月	・書面開催により2021年度公募方針ならびに申込要領の内容を決定。
2021年 3月9日	・2021年度申込の選考委員会(書類および写真審査)を明治安田生命本社ビル会議室にて実施。 ・助成対象候補先として、民俗技術1件、民俗芸能42件を選定。

(4) 監事による監査

開催日	内 容
2020年 5月15日	・小林監事ならびに白井監事による2019年度決算監査を実施。
2020年 11月24日	・津吹監事ならびに白井監事による2020年度中間監査を実施。

5. 主務官庁等に関する事項

- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2019年度事業報告等について、2020年6月26日付で内閣府へ提出した。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定に基づき、理事・監事・評議員の選任、「定款」変更、事務所住所の変更に伴う変更届出書について、2020年8月3日付で内閣府へ提出した。
- ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定に基づき、2021年度事業計画について、2021年3月23日付で内閣府へ提出した。

6. 契約に関する事項

該当事項なし。

7. 寄付金に関する事項

寄付者	領収金額
明治安田生命保険相互会社	2,400万円

8. リスク管理およびコンプライアンスに関する事項

- (1) コンプライアンス違反懸念、情報漏洩懸念、事務・システムリスク等、苦情に関する発生状況、対応状況等

	発生件数	累 計	対前年増減	備考(傾向と対策)
コンプライアンス違反懸念	0件	0件	0件	—
情報漏洩懸念	0件	0件	0件	—
事務・システムリスク等	0件	0件	0件	—
うち重大事務リスク該当件数	0件	0件	0件	—
苦情・相談	0件	0件	0件	—

- (2) 主務官庁の立入検査結果とその指摘事項に関する改善状況

監査の名称(監査実施年度)	指摘事項	前回指摘の改善状況
—	—	—

(3) 規程・方針等の整備状況

① コンプライアンス関連

- ・2019年度及び2020年度計画に対する評価を実施（2020年4月、2021年3月）
- ・2021年度「コンプライアンス取組計画」を立案（2021年3月）

② リスク管理関連

- ・2019年度「リスク管理シートⅠ」に対するリスク評価を実施（2020年4月）
- ・「財産運用モニタリング会議」（2020年9月～2021年3月まで毎月開催）
- ・「財産運用会議」（2020年10月9日、2021年3月30日理事長室にて開催）

③ 制定および改正した規程等

- ・「リスク・コンプライアンス違反等に関する管理報告ルール」（2020年4月）
- ・「外部委託管理規程」（2020年4月）
- ・「贈収賄防止細則」（2020年4月）
- ・「定款」（2020年7月）
- ・「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」（2020年7月）
- ・「コンプライアンス基本規程」（2020年10月）
- ・「情報管理細則」（2020年10月）
- ・「発注企業選定基準」（2020年10月）

④ 制定・改正した手順・解説書等

- ・「個人データ管理台帳」整備・管理の手順・解説書（2020年4月）
- ・「セクシャル・ハラスメント防止 手順・解説書」（2020年6月）
- ・「パワー・ハラスメント防止 手順・解説書」（2020年6月）
- ・「コンプライアンスマニュアル」（2020年7月）
- ・「上場不動産投資信託への取組に関する手順・解説書」（2020年9月）
- ・「私募不動産投資信託への取組に関する手順・解説書」（2020年9月）
- ・「災害対策手順・解説書」（2020年10月）
- ・「情報システム開発・運用マニュアル」（2021年2月）
- ・「財団会計手順・解説書」（2021年3月）

9. 反社会的勢力への対応状況

(1) 新規助成申込者に関する属性点検実施状況（今年度累計：2020年4月1日～3月31日）

区分	全取引数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
	うち、上場企業・ 関連会社等	うち、個人契約			うち、代表者名	うち、個人契約			
特定外部委託 契約締結先	0	0	0	0	0	0	0		
その他外部委託・一般契約 締結先	2	2	0	0	2	2	0		
その他取引先等 (助成申込先:注)	148	0	148	148	148	79	69	懸念先なし	

(注) 対象は2020年度海外音楽研修費用助成申込および国内音楽学生奨学金助成新規分ならびに2021年度地域の伝統文化助成申込分

(2) 既取引先の属性点検実施状況（2021年3月末現在）

	全取引先数			点検必須 項目数	必須項目属性点検照会件数			点検結果	備考
	うち、上場企業・ 関連会社等	うち、個人契約			うち、代表者名	うち、個人契約			
(注1) 特定外部委託 契約締結先	3	3	0	0	0	0	0		
(注2) その他外部委託・一般契約 締結先	6	2	0	6	6	6	0	懸念先 なし	
(注3) その他取引先等	16	0	16	16	16	0	16	懸念先 なし	

(注1) 特定外部委託：明治安田生命本体および明治安田生命関連会社との委託契約

(注2) その他外部委託・一般契約：

- ・毎日新聞社（日本音楽コンクール賞金寄託覚書）
- ・キャノンマーケティングジャパン社（キャノンコピー機メンテナンス契約）
- ・カネテツ（産業廃棄物処理委託契約）
- ・小湊（産業廃棄物処理委託契約）
- ・SCB 新宿センタービル管理株式会社（清掃業務委託契約）
- ・東京不動産管理株式会社（防火対象物・防火管理点検）

(注3) その他取引先等：

- ・2018年度、2019年度決定海外音楽研修生継続助成者
- ・2019年度決定国内音楽大学助成者

(3) 一般契約書への反社条項導入状況（2021年3月末現在）

有効契約数	反社条項 導入要契約	反社条項 導入完了契約	完了率	完了予定
6件	6件	6件	100%	

(4) 反社情報の明治安田生命への連携状況

報告年月日	報告内容	明治安田生命との連携状況
	該当なし	

Ⅲ. 2021年度のリスク管理の取組み

1. 重要リスクの特定

リスク管理規程に基づき、以下のとおり2021年度の重要リスクを特定、管理する。

重要リスク	具体的取組事項	モニタリング手法
1. リスクガバナンスへの対応不十分	・「法令順守・リスク管理委員会」による検証	・「総括管理部要請事項」等による検証
2. 新型コロナウイルス感染症への対応不十分	・事業計画への反映 ・感染防止対策の高度化(第2オフィス)	・理事会への報告・承認 ・新たな生活様式の徹底
3. 大規模な自然災害	・「緊急連絡簿」の鮮度維持	・安否確認システムによる検証
4. 安全配慮義務への対応不十分 (勤務・メンタル・防犯)	・適切な勤務管理と健康経営の推進 ・テレワークの推進	・「個人勤務票」の検証と「銀の認定」の更新 ・業務日程表による周知・徹底
5. 大規模な個人情報漏洩	・「情報保護推進委員会」による検証と実査	・「経営チェックリスト」を活用した自己点検
6. 基本財産の減少	・元本毀損リスクのある上場REITのモニタリング	・「財産運用モニタリング会議」「財産運用会議」の開催

2. リスク管理の重点実施事項

リスク管理規程に基づき、2021年度のリスク管理の重点実施事項を以下のとおり定める。

1. 諸規程・ルールの見直し

公益認定等ガイドライン等をふまえたリスク関連の諸規程、ルール、方針等を見直しによりリスク管理態勢の高度化を推進する。

2. リスク管理推進委員会の定期的開催と理事会等への報告

リスク管理状況については、「経営チェックリスト」等の内部管理自己点検の結果を基本に、定期的にリスク管理推進委員会に報告するとともに課題の解決策を講じる。また、理事会等へ報告する。

3. 基本財産の運用に関するモニタリング強化

資産運用リスクに対応するため、市場価格の推移を「財産運用モニタリング会議」を通じ、確認・検証等を行う。また、会議内容を理事長へ報告するとともに、四半期に一度「財産運用会議」を行い、出捐元との連携を強化しリスク管理態勢の高度化に努める。

4. 「経営チェックリスト」および「リスク管理シート」等による内部管理自己点検の実施

業務の健全性とガバナンスの適切性を確保するため「経営チェックリスト」による内部管理自己点検を年一回以上実施する。なお重要度が高い業務にかかる事項は毎月実施する。また、会社の重要な固有リスクの管理態勢を強化するため「リスク管理シート」等による内部管理自己点検を年二回以上実施する。なお、重要なリスク管理の取組みについては半期毎に自己点検を実施する。

5. リスク等発生時のレポートラインの整備と徹底

「リスク・コンプライアンス違反等に関する管理・報告ルール」および「お申し出に関する管理・報告ルール」を周知徹底し、リスク等発生時には迅速な情報の収集によりリスクの伝播を防止し、発生原因の分析、再発防止策の策定・実施を行なう。

6. 個人情報保護への継続的な取り組み

助成申込者および財団役員等からお預かりした個人情報、個人番号および特定個人情報を大切に保護・管理するために、個人情報保護法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律をはじめとする関係法令および社内規程等の遵守の重要性を周知・徹底するとともに、さまざまな安全管理措置等の適切な取扱い等を徹底し、情報漏洩の発生原因を徹底的に排除した態勢を整備する。

7. システムリスク・セキュリティにかかる取り組み

保有・利用する情報システムにおいて、以下の各号のとおりシステムリスク管理態勢の整備を推進する。

あわせて、全役職員を対象に情報システム利用マニュアルの周知徹底を図る。

- (1) システムの品質確保に向け、必要な要件がシステムに正しく反映されていることを、システム稼働前に確認する
- (2) システムのセキュリティの確保に向け、必要なセキュリティ対策が取られていることを、システム稼働前および定期的に確認する
- (3) 社外メール・インターネットを通じた外部攻撃（ウイルス感染、サイバー攻撃等）の危険を認識し、システムの安全利用に努める

8. 業務運営に係る手順・解説書の整備

助成事業を中心とした業務運営に関し、引き続き手順・解説書の整備に努め、潜在リスクの把握およびリスク発生防止策を講じる。

附属明細書

2020年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。